

算数

1 計算

〈解答〉(1) 470 ☆☆☆☆ (2) 423 ☆☆☆☆ (3) 7017 ☆☆☆☆

(4) 3899 ☆☆☆☆ (5) 288 ☆☆☆☆

(6) 34713 ☆☆☆☆ (7) 9 ☆☆☆☆

(8) 7あまり3 ☆☆☆☆ (9) 23 ☆☆☆☆

$$\begin{array}{r} (1) \quad 350 \\ + 120 \\ \hline 470 \end{array} \quad \begin{array}{r} (2) \quad 585 \\ - 162 \\ \hline 423 \end{array} \quad \begin{array}{r} (3) \quad 4632 \\ + 2385 \\ \hline 7017 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 7492 \\ - 3593 \\ \hline 3899 \end{array} \quad \begin{array}{r} (5) \quad 48 \\ \times 6 \\ \hline 288 \end{array} \quad \begin{array}{r} (6) \quad 609 \\ \times 57 \\ \hline 4263 \\ 3045 \\ \hline 34713 \end{array}$$

(9) $60 \div 3 = 20$ 、 $9 \div 3 = 3$ 合わせて 23

2 数・文章問題

〈解答〉(1) 3051260 ☆☆☆☆ (2) $\frac{2}{5}$ m ☆☆☆☆

(3) $3.8 < 4.2$ ☆☆☆☆ (4) 50分 ☆☆☆☆

(5) (答え) 1kg 40g ☆☆☆☆

(考え方・式) は下にあります。

(1)

千	百	十	一	千	百	十	一
			万				
	3	0	5	1	2	6	0

(2) 1m を 5 等分しているの、1めもりは $\frac{1}{5}$ m です。

(3) 0.1 をもとにしてくらべます。

(4) 午後 2 時 20 分から午後 3 時までが 40 分。午後 3 時から午後 3 時 10 分までが 10 分。合わせて 50 分。

(5) (考え方・式)

[例] $140 \times 6 = 840$ 、 $840 + 200 = 1040$

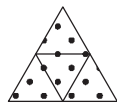
$1040\text{g} = 1\text{kg } 40\text{g}$

3 図形

〈解答〉(1) 4まい ☆☆☆☆ (2) 3cm ☆☆☆☆

(3) 工 ☆☆☆☆ (4) $\begin{array}{|c|c|} \hline \cdot & \cdot \\ \hline \end{array}$ ☆☆☆☆

(1) $10 \div 5 = 2$ より、右の図のように 4 まいのタイルでしきつめることができます。



(2) ボールは 3 つだから、直径は、 $18 \div 3 = 6$ (cm)、半径は、 $6 \div 2 = 3$ (cm) です。

(3) 正方形の 1 辺の長さを 1 とすると、まわりの長さは、ア、イ、ウ、オが 12 で、エは 10 です。

(4) $\begin{array}{|c|} \hline \cdot \\ \hline \end{array}$ と向かい合う面は $\begin{array}{|c|c|} \hline \cdot & \cdot \\ \hline \end{array}$ です。だから、ゆかにくっついた面は $\begin{array}{|c|c|} \hline \cdot & \cdot \\ \hline \end{array}$ になります。

4 おにぎりのこ数

〈解答〉(1) 16 こ ☆☆☆☆ (2) おかか ☆☆☆☆

(3) 午前に売れたおにぎりのほうが 2 こ多い ☆☆☆☆

(1) $9 + 7 = 16$ (こ)

(2) 午前に売れたおにぎりのグラフを見ます。

(3) 午前… $9 + 6 + 11 + 10 = 36$ (こ)

午後… $7 + 8 + 5 + 14 = 34$ (こ)

だから、午前のほうが、 $36 - 34 = 2$ (こ) 多い。

5 円

〈解答〉(1) 48cm ☆☆☆☆ (2) 12cm ☆☆☆☆

(1) 右の図のように、直径 (例)

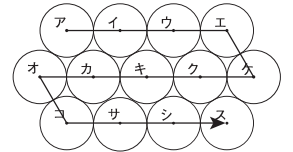
12 こ分の長さ進むので、 $4 \times 12 = 48$ (cm)

(2) 最も短いときは直径

9 こ分で、 $4 \times 9 = 36$ (cm)、

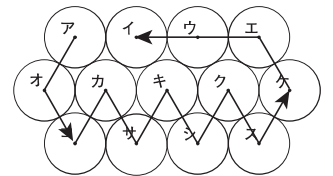
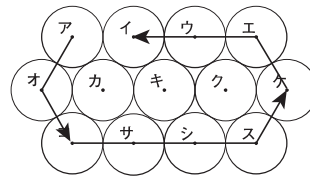
最も長いときは直径 12 こ分で、 $4 \times 12 = 48$ (cm)

だから、ちがいは、 $48 - 36 = 12$ (cm) です。



(例) 最も短いとき

(例) 最も長いとき



6 問題の数

〈解答〉(1) 219 問 ☆☆☆☆

(2) (答え) 8 日 ☆☆☆☆

(考え方・式) は下にあります。

(3) 月曜日、日曜日 ☆☆☆☆

(1) $168 + 51 = 219$ (問)

(2) (考え方・式)

[例] $51 \div 7 = 7$ あまり 2、 $7 + 1 = 8$ (日)

(3) 3 問とく日が 10 日間、7 問とく日が 3 日間あると、13 日間でちょうど 51 問とくことができます。

だから、あてはまるのは、月曜日からときはじめた場合と、日曜日からときはじめた場合です。

月曜日からときはじめた場合

月	火	水	木	金	土	日	計
3	3	3	3	3	7	7	29
3	3	3	3	3	7		22

合計 51

日曜日からときはじめた場合

月	火	水	木	金	土	日	計
						7	7
3	3	3	3	3	7	7	29
3	3	3	3	3			15

合計 51